

夢の中にも、たくさんの重要な情報が含まれている

35. 眠りながら潜在意識を活用しよう

眠りは、体を休めるためにだけあるものではありません。眠っている間こそ、自分の潜在意識と交流し、アイデアを与えられたり、正しい進路に導いてもらったりする貴重な時間なのです。

マーフィーはその昔、アジアでの有利な条件の仕事を勧められたことがあります。彼は正しい決断を、眠りにつく前に何度も何度も潜在意識に求めました。

すると、潜在意識は、夢という形をとって解答を与えてくれたのです。夢の中に古い友人が現れ、「その新聞を読め、行くな」と言い、一枚の新聞を見せたのです。新聞の見出しには、戦争と真珠湾攻撃のことが書いてありました。これは第二次世界大戦の始まる三年も前の話です。

マーフィーは夢の忠告に従ってこの仕事を断わり、おかげでその後の大変な状況をまぬがれたといえます。

このように、決断に迷うことがあれば、全知の潜在意識に頼ればいいのです。それには、あなたが眠りにつく前、潜在意識に「私にとって一番よい行動がとれますように」と語りかけることです。

単純で具体的な「絵を描こう」

「この指輪、ステキだわ」

「うん、これにしよう」

「とてもよくお似合いですよ……。」

マーフィーの言葉

どちらとも決めかねることがあったら、眠っている間に潜在意識に指示してもらいなさい。

きこ書房

マーフィー「お金」と「幸せ」の法則 ジョセフ・マーフィー・インスティテュート編